



生活支援コーディネーターだより

発行：社会福祉法人 鈴鹿市社会福祉協議会 地域福祉グループ

こんにちは！鈴鹿市社会福祉協議会です。暑い日が続きますね。こまめな水分補給や適度な休憩を心がけ、体調を崩さないように気をつけてください。特に屋外での活動の際は、活動時間に注意し、帽子や日傘を活用し、熱中症にならないよう暑さ対策をしっかりして元気にお過ごしください。

さて、今回のおたよりでは、箕田地区・栄地区・鈴峰地区の取り組みについて紹介させていただきます。



誰ひとり取り残さない地域共生社会の実現に向けて

生活支援コーディネーターと一緒に考えます！



鈴鹿市内では、令和元年度より稲生地区で開始された「稲生助け愛ネット」の取り組みをきっかけにゴミ出しや草刈りなど、生活に関わる支援（ささえあい活動）を提供する地域づくり協議会が増えています。現在、市内28の地域づくり協議会のうち、16地区で様々な内容の取り組みが進められています。

それぞれの取組内容は、住民のみなさまのお困りごとに応じて各地域づくり協議会で支援できることを検討し、実施されています。しかし、「医療機関や買い物へ連れて行ってほしい」という車での支援については、高齢者を中心に高い要望があるものの、事故のリスクや運転手の確保が難しいなどの理由で実施に至っていない地区が多いという現状があります。

取り組みは順調なことばかりではなく、支援を必要とする高齢者等が増える中で、地域で支援活動に参加していただける人（支援者）や運営資金を確保して、継続した活動にしていけることについてはどの地区も課題となってきています。

一方で、支援を受けている方（利用者）からは、喜びや感謝の声が届けられており、支援者もその言葉にやりがいを感じるなど、どちらにとっても生活が豊かになる取り組みでもあります。

もしこれからこのような活動を始めたい、と考えている地域づくり協議会の方々には、取り組みを始めるにあたってどのように人を集めているのか、お金のやりくりや規約の整備はどのようにしているのか、などのご質問があるかと思います。私たち生活支援コーディネーターは、このような活動と取り組みに関する情報提供や先進地への視察調査、活動準備物を購入するための補助金申請のお手伝いなどを住民の方々と一緒に考える役割を担っています。また、実際に取り組みを始めた後も、その中で生じる様々な課題についてみなさまと一緒に考え支援をしてまいります。興味を持たれた地区については、是非ご連絡やご相談をいただければと思います。

ささえあい活動 実施地区と活動団体名のご紹介

- | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| ・鈴 峰 <small>えんじょ</small> 縁助け鈴峰 | ・長 太 <small>びすけ</small> なご微助っ人 | ・国 府 <small>こう</small> 幸ネット |
| ・深伊沢 にこにこ応援団 | ・天 名 はごろも | ・庄 野 ささえあいま庄野 |
| ・井田川 すまいるサポート井田川 | ・旭が丘 旭お助け隊 | ・牧 田 ペガサス牧田 |
| ・合 川 支え合いネットあいかわ | ・郡 山 とともに生きよう郡山 | ・稲 生 稲生助け愛ネット |
| ・鼓ヶ浦 生活支援ネット鼓ヶ浦 | ・石薬師 あったか石薬師 | ・箕 田 和の街お助け鯛 |
| ・ 栄 お願いネットさかえ〜る | | |

令和7年度より、箕田・栄・鈴峰・石薬師地区の4地区で地域ささえあい活動が開始されました。今回は、前号でご紹介した石薬師地区以外の3地区のみなさまから寄せられた課題に対して、生活支援コーディネーターが実際に行った取り組みについてご紹介します。

これからささえあい活動をお考えの地域のみなさまにも、地域の特性を生かした取り組みのお手伝いをさせていただきますので、生活支援コーディネーターまでお気軽にお声がけください！

Q. 「地域ささえあい活動」について説明してほしい！



A. 「地域ささえあい活動」とは、地域で暮らす高齢者や障がいのある方が、日常生活の困りごとに対して、「ちょっと困った」「誰か助けて欲しいな」と思ったとき、『おたがいさま』の気持ちをもって助け合う活動です。

箕田地区では、令和6年6月に地域づくり協議会のみなさまに向けた説明を行い理解を深めたことで、同年7月より生活支援サービス開始に向けて生活支援検討会が発足され、活動を開始するきっかけとなりました。



Q. ささえあい活動を始めるためには、何をしたらいいの？

- A. ①住民アンケートの実施 ②内規・マニュアルの作成
③住民への周知 ④先進地区への視察 ⑤補助金申請

鈴峰地区では、地域性が似ている天名地区と合川地区への視察を行い、抱える課題の意見交換会を開催するなど地域のみなさまへの丁寧な説明と地域の特性に合った提案を心がけ、ささえあい活動を一緒に進めました。

なお、①～⑤については、全てを行う必要はなく、行う順序やタイミングを地域のみなさまと相談しながら進めています。



縁助い鈴峰
コーディネーターのみなさま

Q. 運営するための資金をどうするか？

A. 鈴鹿市では、住民同士の地域のささえあい活動（暮らしまかせて支援事業）に対して、「立ち上げ」「運営支援」を目的にした補助金の助成が受けられます。栄地区は令和6年10月に「暮らしまかせて支援事業」の補助金申請を行い、立ち上げ資金を利用し準備を進め令和7年度より本格的に始動しました。

事業内容や補助金の申請など、それぞれの地区の実情に合った運営方法の提案をしています。



お願いネットさかえ～る
のみなさま



お問い合わせ・福祉のお困りごとは・・・鈴鹿市社会福祉協議会 地域福祉グループまで
〒513-0801 鈴鹿市神戸地子町383-1
TEL：059-373-5750 FAX：059-382-7330
＊平日の8：30～17：15にお願いいたします

